

各部の共通事項（5つの柱以外）

○新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

- ・感染症による危機を確実に乗り越えるための必要な措置
- ・新しい生活様式への対応や徹底したデジタル化など

○SDGsを踏まえたバックカスティング思考による基盤づくり

- ・予見可能性の高い将来課題から現在のとるべき方策を考えるバックカスティングを基本として中長期的な計画を策定し、令和3年度の施策展開を図り、市政運営を行ってまいります。
- ・EBPMの手法を用いながら、必要性や緊急性、波及効果の高いものから施策の優先度を定め実行に移してまいります。
- ・本市の収支バランスのとれた財政構造を堅持しつつ、すべての人が将来に夢と希望を持てる発展に向けた基盤づくりを進めてまいります。



予見可能性の高い主な将来課題

2025年	○団塊の世代が75歳以上の後期高齢者へ(超高齢化社の到来) ○経産省DXレポート「2025年の崖」(高齢化・移行・ブラックボックス化による既存ITシステムの残存した場合に想定される国際競争への遅れや経済停滞等の懸念) ○自治体情報システムが全国標準化・共通化に ○県内電力消費量が100%以上再生可能エネルギーに
2030年	○SDGsの国際目標の達成目標年度 ○ガソリン車廃止(30年代半ばまでに)、北海道新幹線札幌延伸等モビリティシステムの変化
2040年	○団塊ジュニア世代が65歳以上に(超高齢化社会の進行) ○人口縮減時代への自治体行政の転換(自治体戦略2040構想)
2050年	○二酸化炭素実質排出量ゼロの達成目標年度

○「こおりやま広域連携中枢都市圏」による広域的視点による問題解決施策の推進

本市は、こおりやま広域圏をけん引する使命と責任があります。広域的な視点により、共通する行政課題等の分析や検討を進め、その解決に資する事業に率先して取り組むなど、圏域内協奏のもと、将来における圏域全体の発展を見据えた施策の推進を図ってまいります。

こおりやま広域圏の将来像と目標

将来像

「広め合う、高め合う、助け合う」こおりやま広域圏
～持続可能な圏域の創生～



以上の考え方により、持続可能な市政運営を行うため、右に示した視点をもって予算を編成してまいります。
市民の皆様の市政へのご理解とご協力をお願いいたします。

- ✓ 財政健全化
- ✓ 国等における重点施策との整合性

※令和3年度当初予算は、4月に市長選挙が執行されるため、原則、義務的経費、継続的事業及び市民生活に密着した事業を中心とした骨格予算となりますが、市民生活や生業の危機を確実に乗り越えるための必要な措置は、いわば危機管理予算として、今後の予算編成の中において検討していきます。

予算編成方針は、YouTubeでもご覧いただけます。



作成：財務部財政課

令和3年度
予算編成方針

「新しい生活様式」実現型
課題解決先進都市の創生
～「誰一人取り残さない郡山」
を目指す新年度予算～

令和2年10月1日に令和3年度の予算編成方針を策定し、各部局へ通知しました。

この予算編成方針に基づき、現在予算編成作業を行っています。

この予算編成方針は、令和3年度の当初予算編成の基本的な考え方をまとめたものとなりますので、市民の皆さんにお知らせいたします。

一市政へのご提案、ご意見をお寄せください一

市ウェブサイト
郡山 みんなの声

検索

市民の声送ろうFAX
FAX 0120-435106



本市は、昨年7月1日に、県内で初めて国の「SDGs未来都市」に選ばれました。昨年度から、国の「自治体SDGsモデル事業」として「全世代健康都市圏創造事業」を進めるなど、将来世代につなぐ持続可能なまちづくりを進めるため、さまざまな取り組みを推進しています。

特に、東日本台風をはじめ災害が激化しております。気候変動への対応、新しい生活様式実現は喫緊の課題として率先して取り組んでまいります。

- 全世代健康都市圏の創造
- 持続可能な地域社会の創生
- 気候変動対応
- 新しい生活様式実現

SDGsとは

2015年に国連の193の加盟国が全会一致で採択した、2016年から2030年までの国際目標。
「誰一人取り残さない」というスローガンのもと、貧困、教育、気候変動など、17のゴールを目標に全ての国が関わって解決していく目標です。



- 知の結節点
- こおりやま広域圏
- 産官学金労言士連携
- 協働のまちづくり



様々な分野で人や情報、研究成果が行き交う「知の結節点」の強みを生かし、こおりやま広域圏における地方創生をけん引する中核都市として、産官学金労言士等の地域主体の参画のもと、市民の皆様、地域企業に寄り添いながら、公民協奏の考えのもと課題解決に取り組んでまいります。



DXへの取り組みにより業務効率化を進め、自治体DX化のモデルとなる先進的な取り組みを進めてまいります。
また、広域圏全体のデジタル化をリードし、住民サービスの向上を図るとともに、感染リスクに対応した非接触型サービスなど5レスを徹底してまいります。

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは

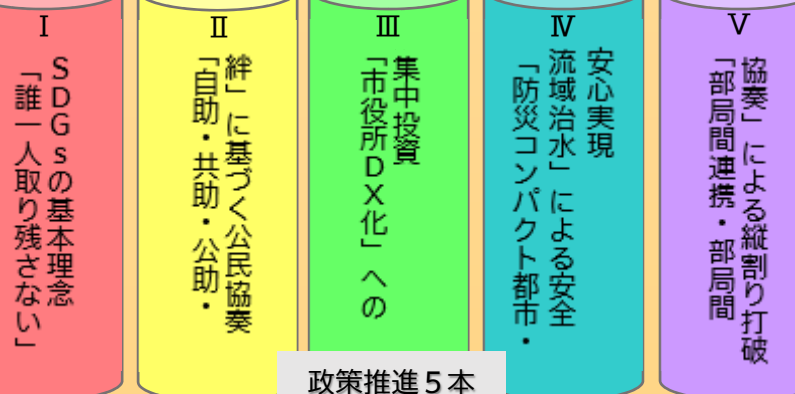
ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる概念

- 業務の効率化
- 住民サービスの向上
- 5レス

令和3年度 予算編成方針

基本方針

「新しい生活様式」実現型
課題解決先進都市の創生
～「誰一人取り残さない郡山」
を目指す新年度予算～



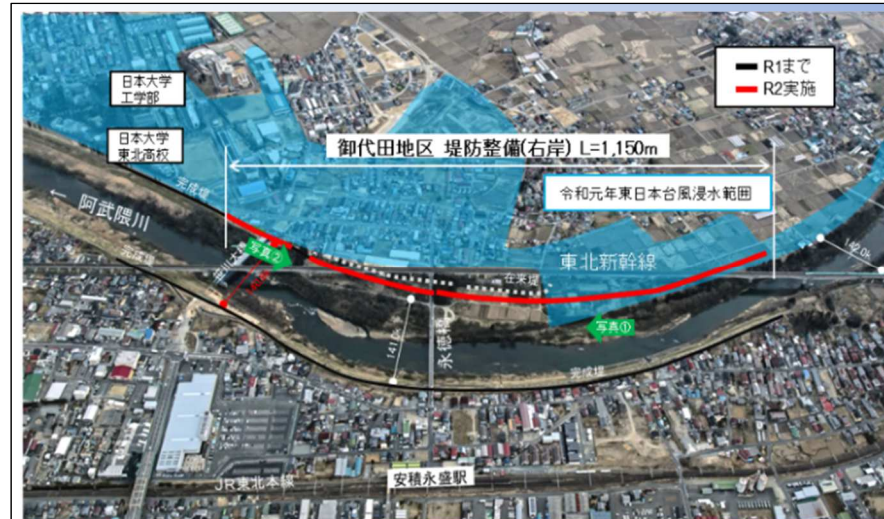
政策推進5本

with コロナの中、「新しい生活様式」を念頭とした新型コロナウイルス感染拡大防止や激化する自然災害への対策など、さまざまな解決すべき課題が存在。

課題解決先進都市として
施策を展開

「誰一人取り残さない」SDGsのスローガンの下、自助・共助・公助・絆により、すべての市民が健やかな生活を守る予算とするものです。

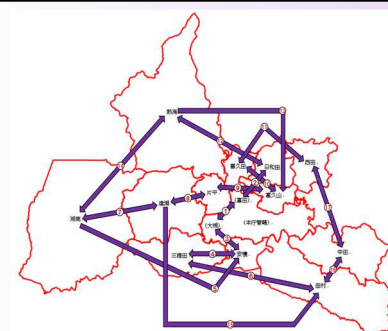
5本の柱で「誰一人取り残さない郡山」実現をめざします。



これまでの治水に加え、国、県、市町村、企業、住民といったあらゆる関係者により流域全体で行う治水の考えのもと緊急水災害対策プロジェクトなど流域治水の推進を図ってまいります。

あわせて、防災コンパクト先行モデル都市の選定による防災指針や立地適正化計画の見直しを行い、複合災害にも対応した車両避難対策、要援護者避難支援など、誰一人取り残さない防災体制の構築を進めてまいります。

- 緊急水災害対策プロジェクト
- 防災コンパクトシティ
- 防災体制の構築



(行政センター対口支援体制)

- 横断的課題対応
- 行政のスピードアップ



(各種研修ネットワークや共同研究による人材育成、カイゼン運動)

市役所DX化を基本とした横断的課題対応への基盤整備に取り組み、地域課題解決に必要なあらゆる支援を部局の枠を超えて多面的に対応してまいります。

また、縦割りによる無駄を廃止し基本ルールを共有化することで行政のスピードアップ、市民サービスの向上に努めてまいります。